

令和4年度第1回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和4年7月26日（火）14時00分～

場所：北館 1階 103A会議室

出席者（敬称略）※オ=オンラインでの出席

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	○	小森 雅子	オ	山田 雄三	オ
久保 春奈	○	石橋 文恵	○	北原 一臣	○
入江 有希子	○	小野 稔	○	戸畑 典子	○
永嶋 久子	○				

事務局出席者：田村、吉武

1 はじめのあいさつ

2 委嘱状交付

（資料1：宗像市男女共同参画推進懇話会 名簿）

○委員
●事務局

3 会長・副会長選出

※互選による選出

会長：石山 さゆり 委員

副会長：山田 雄三 委員

4 議事録について

●議事録の作成方法をお諮りする。①議事録は要約筆記で作成し、委員の確認を経て議事録署名人が署名する。②議事録署名人は名簿順（会長副会長を除く）に選出することとする、以上2点を提案する。

○<承認>

議事録署名人：小森 雅子 委員

5 懇話会について（資料2：宗像市男女共同参画懇話会規則）

○本懇話会については、宗像市附属機関設置条例で、「男女共同参画に関する検討を行うとともに、その推進に関する施策等を提言すること」と定められている。具体的には年2～3回の会議を開催し、宗像市男女共同参画プランの進行について、毎年度進捗の評価と今後の事業についての提言をいただいている。

○プランの改定の前年度・前々年度においては、プランの基本的な施策方針や内容について、また、プラン改定の基礎資料となる市民意識調査（5年ごと）の実施についても意見いただいている。そのため、広く意見をいただけるよう、様々な分野の委員に参加いただいている。

6 議事

(1) 令和4・5年度スケジュール（資料3）

○（スケジュールを説明）本年度は3回、来年度は2回の会議開催を予定。

○本年度の第3回懇話会では、来年度実施の市民意識調査の内容検討も行う。

(2) 前年度検討事項の整理

○評価・意見書の形式について（資料4-1、4-2）

（3）第3次宗像市男女共同参画プランの概要と進行管理について評価の流れについて（資料5）、を先に説明）

- （資料5・P5の下図参照）事業実施後に、事業実施担当部署に対して事業実績のヒアリングを行い、進捗状況をまとめたもの（「事業実施報告書」）を、懇話会へ報告。実施状況・進捗について懇話会で評価を行い、「意見書」としてまとめ、市へ提出。そして「事業実施報告書」と「意見書」は、市ホームページで公表するという流れである。
- 事業評価については担当部署が自己評価を行い、基本目標ごとの重点項目について懇話会による外部評価を行う。どちらもA～Eの評価判定区分を使用する。
- 前年度までの懇話会の中で、重点項目評価シートの内容・形式や、意見書の構成について、意見いただいている。今回、評価シートについては、具体的な作成イメージがわかりやすいように、内容を仮入れした状態のものを示している（資料4-1, 4-2参照）。
- 昨年度まで、80以上の事業ごとに一つずつ懇話会評価（A～E）をいただいていたが、5つの重点項目ごとに懇話会が評価（A～E）するよう変更している。
- 懇話会の意見書をまとめるにあたり、昨年、総括の後に重点項目評価シート（5つ）を付けるという方法を提案していたが、意見書の分量が多すぎるという意見があった。また、意見書をまとめる際に、事務局が委員意見をまとめた文章を作成すると、委員の意見が伝わりにくくなるという意見もあった。
- そこで、事務局で検討した結果、改めて「総括+重点項目評価シート（5つ）」という構成を提案したい。昨年度までは、事業報告シート（A3）と意見書（総括+文章）だったが、今年度から「総括+重点項目評価シート（5つ）」となる。
- 懇話会の意見をより反映してほしいという意見に対応し、意見書作成の際はこれまでのように事務局が文章としてまとめるのではなく、なるべく委員意見を活かして箇条書きで記載したい。（資料4-2は見本として昨年の意見をそのまま全部乗せたもの）懇話会で、全意見と、箇条書きのものを示してどの意見を重点項目評価シートに盛り込むか、確認修正の意見をいただき、確定することとしたい。

（質疑等）

- 重点項目評価シートに事業数9とあるが、重点項目評価シートの主な事業の実施状況の欄に9つ事業があるということか。
- 事業ごとに自己評価するシート（A3）が別があり、その評価を基に計算し、重点項目評価シートの事業評価の計欄に記入する。
- 従来のようにA3のものは記入せず、重点項目評価シートだけ記入するということか。
- 従来は、A3の事業ごとの評価シートに、担当課評価に加えて委員評価を事業ごとにつけていただいていたが、その作業は無くなる。実施状況に市の自己評価が入ったものを資料として、重点項目ごとにご意見をいただきたい。主な事業は重点項目評価シートにまとめるが、詳しく見たいものは、事業ごとの実績シートに戻って確認いただきたい。
- コロナで事業未実施のものは、どのように評価されるか。
- 状況的にどうしても事業実施が難しいものは、評価が下がるのではなく「今年度該当事業無し」として処理している。ただし、コロナ禍でも工夫すれば事業実施できたのでは、というこ

とであれば、そのように意見いただいてもよい。

- 委員評価コメントは各委員がするのか、どのように集約するか。
 - 資料4-2のようにすべてそのまま集約し、その中からどの意見を重点項目評価シートに掲載するか検討していただきたい。
 - (会長)総括はどのような形で作るのか。例年会長が総括を書いているが、多くの資料を網羅し、私見が入らないように書くのは負担も大きい。そもそも総括は必要なのか、とも思う。
 - 会長の負担が大きいのはわかるが、懇話会の概要がよくわかる文章になっていたのがよかった方がいいと思う。
 - (会長)持ち回りで書くという方法もどうだろうか。事務局で今後検討いただきたい。
 - 年々どういう風に進捗しているか、前年度との対比は資料として出てくるか。
 - シートでは、今年度の目標に対しての実績という風に年度の中での進捗を見る。前年度との比較については、前年度のシートと比較することで進行具合が比較できる。
 - 自分で比較するしかないということだろうか。
 - 重要な成果指標(重点項目ごとの数値目標)は、5年間の推移を別資料で示すという方法はいかがか。
 - 何らかの形で分かりやすく示してほしい。
 - (会長)今回の会議では、この評価形式でよいかどうか決めればよいか。
 - 方向性の決定をお願いしたい。今回評価形式が決まれば、次回会議で内容まで作成したものを提示し、評価いただく。
 - いいと思う。以前の方法に比べてまとまったと思う。
- <承認>

(3) 第3次宗像市男女共同参画プランの概要と進行管理について(資料5)

- 進行管理手引きについて
(前項目の中で説明)

7 事務連絡

- ・次回会議日程調整について(紙・Web)
 - 8月5日までにご提出いただきたい。
 - 議事録もでき次第、送付する。

次回 第2回宗像市男女共同参画推進懇話会(9月21日(水)15時~)

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

小森 雅子 